

いっしょに、 笑顔。

みんなが暮らす町だから、うれしい時は、喜び合いたい。たのしい事は、みんなで分かち合いたい。

みんなで、お互いに助け合って、支え合って、いつも、いっしょに、笑顔になりたい。

私たちファミリーマートは、いつも、そんな仲間の輪のなかにいたいと願っています。

みんなが笑顔になれば、町はもっと元気に、もっと明るく、もっと素敵に変わっていくはず。

ファミリーマートのある町は、いつでも、どこでも、

いっしょに、笑顔。



株主の皆さま、こんにちは。日頃よりファミリーマートをご支援賜りまして、誠にありがとうございます。

ここに、当社第31期報告書（2011年3月1日から2012年2月29日まで）をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

2012年5月
代表取締役社長 上田 準二

2011年度のレビュー（2011年3月から2012年2月まで）

2011年度はファミリーマート「創立30周年」の節目であり、「みんなと、ファミリー。」のスローガンのもと、お客さまやそれぞれの地域社会、また加盟店と本部との「つながり」をテーマにスタートしました。その年度初めの3月11日に東日本大震災に見舞われ、様々な困難もございましたが、当社は、ビジネスパートナーである加盟店の復旧・復興を最優先としながら、「社会・生活インフラ企業」として、お客さまがコンビニエンスストアに求められる役割・機能を果たすべく全力を挙げて取り組んでまいりました。

商品面では、中食商品を中心にオリジナル商品の開発を進め、品質の向上と品揃えの差別化を図ってまいりました。9月に発売した“惣菜”“サラダ”の独自ブランド『彩り famima DELI』では、なでしこジャパンをイメージキャラクターとして起用し、美味しさや見た目の鮮やかさ、幅広い品揃えにより大好評をいただいております。

さらに、「おとなコンビニ研究所」のフラッグシップ店として「ファミリーマート代官山店」を開店し、「おとな世代」の好奇心や消費意欲を喚起する品揃え、落ち着いた居心地の良い空間等、新しいコンビニエンスストアのスタイルを提案することにより、ターゲット層のみならず幅広いお客さまからの支持をいただいております。

運営面におきましては、「S&QC（サービス・クオリ

ティ・クリンネス）の徹底」や「SST（ストアスタッフトータルシステム）」の推進により、売上向上に取り組んでまいりました。また、東日本大震災の被災地では仮設店舗や移動販売車「ファミマ号」の稼働により、地域のライフラインとして、中食や日用品等の販売を継続しております。さらに、電力不足への懸念に対し、店内照明・販売什器の一部消灯や店内空調の設定温度変更によりチェーン全体で節電に取り組みました。

店舗展開におきましては、三大都市圏と地方中核都市を中心とした成長性の高い店舗の出店に加え、マーケットの変化に対応したB&S（ビルド&スクラップ）を実施してまいりました。また、2年間にわたるam/pmのブランド統合が完了し、733店舗がファミリーマートブランドとなりました。

海外における店舗展開につきましても、台湾・韓国は堅調に推移し、店舗数の増加を背景に収益貢献が拡大いたしました。中国においても、上海では約200店舗の純増、広州でも100店舗を突破したほか、12月には新たに杭州市において1号店を開店いたしました。日本流の商品・店舗運営によりブランド力が高まり、店舗段階での収益は着実に改善しております。さらにベトナムでも、昨夏設立したVI NA FAMILYMART CO., LTD.による1号店を12月に開店、計18店舗に拡大いたしました。

これらの結果、2012年2月末において、国内店舗数は、国



内エリアフランチャイザー4社を含め8,834店舗となりました。また、海外店舗数は、台湾、韓国、タイ、中国、アメリカおよびベトナムを合わせて11,245店舗となり、国内外合計で20,079店舗と、掲げておりましたグローバル2万店体制を達成いたしました。

2011年度の連結業績につきましては、営業総収入は329,218百万円（前期比2.9%増）、営業利益は42,586百万円（同11.4%増）、経常利益は44,810百万円（同12.3%増）、当期純利益は16,584百万円（同8.0%減）となり、連結・単体ともに営業利益・経常利益で前期比2ケタ増の過去最高益を達成いたしました。なお、期末配当金は中間期公表の1株当たり40円から、さらに2円増額の42円とし、通期では82円となります。

2012年度の取組み

2012年度も、消費動向の本格回復には至らず、引き続き厳しい状況は続くものと思われます。一方で、少子高齢化の進行や単身世帯の増加により、コンビニエンスストアは利用客層の拡大が続いております。このような状況の中、当社は「いっしょに、笑顔。」をキーワードとし、お客さまに「笑顔」をお届けするため、これまで以上にホスピタリティあふれるおもてなしでお客さまをお迎えできるよう努めてまいります。そして、コンビニエンスストアのあるべき姿を実現するために「基本の再徹底」を図ってまいります。

まず、商品面におきましては、重点商品カテゴリーである『三ツ星パスタ』『Sweets+（デザート）』『できたてファミマキッチン（ファスト・フード）』『あじわい Famima Café（チルド飲料）』『彩り famima DELI（惣菜・サラダ）』を中心に、中食商品のさらなる商品力向上を目指すとともに、am/pmのノウハウを融合させた「冷凍中食」や、新たな調理法により品質の向上と販売期限の延長を両立させた「チルド米飯」「惣菜」について、本格的な展開を図ってまいります。

運営面におきましては、小売業の基本である「S&QCの徹底」をベースに、発注精度の向上を最優先課題として取り組んでまいります。さらに、「クラスター分析」を活用し、お客さまにとって最適な品揃えの実現を目指してまいります。

さらにファミマTカードを通じ、お客さまの囲い込みを一層強化してまいります。アライアンス企業の多さ、3,800万人の実質有効会員数、そして「ロイヤルカスタマー優遇システム」など、Tポイントカードの優位性を活かし、さらなる会員獲得に努め、客数・客単価アップにつなげてまいります。

店舗展開では、国内において三大都市圏と地方中核都市を中心とした全国47都道府県におけるドミナントの維持・拡大、法人開発やニューマーケットへの出店に取り組むことにより、プロパーで800店の出店を進めてまいります。これにより、2012年度末における国内店舗数は国内エリアフランチャイザー4社を含め9,000店舗を突破し、9,388店舗を計画しております。

海外におきましても、アジア各地域において積極的な出店を継続することで、1,976店舗増の13,221店舗を計画しております。これらにより国内外合計で22,609店舗を目指してまいります。

通期の連結業績見通しにつきましては、営業総収入は353,700百万円（前期比7.4%増）、営業利益は45,000百万円（同5.7%増）、経常利益は47,800百万円（同6.7%増）、当期純利益は21,400百万円（同29.0%増）を計画し、今年度を2015年度グローバル25,000店・連結経常利益600億円達成に向けた体制構築の年と位置付けてまいります。

なお、次期の配当につきましては、中間配当金を1株当たり46円、期末配当金を1株当たり46円とし、通期では1株当たり92円と8期連続の増配を予定しております。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。



こだわり商品情報



彩り famima DELI

食卓の楽しさ・満足感を高める品揃え

2011年9月に登場した『彩り famima DELI』は、素材や調味料にこだわり、ひと工夫加えた定番メニューや、アイデアが光る創作メニューで展開する惣菜・サラダのファミリーマートオリジナルの 카테고리です。四季折々の旬な野菜をふんだんに取り入れ、味覚で季節を感じていただくとともに、器や食材で彩りも鮮やかに盛り付けて、視覚でも楽しんでいただけるメニューを幅広く品揃えし、多くのお客さまにご好評をいただいております。



まげて食べる
明太風パスタサラダ



豚生姜焼き



ハンバーグ(デミソース)



1/2日分の野菜スープ



1/2日分の
野菜サラダ



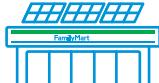
近賀ゆかり選手
(INAC神戸レオネッサ所属)

大野忍選手
(INAC神戸レオネッサ所属)

澤穂希選手
(INAC神戸レオネッサ所属)

川澄奈穂美選手
(INAC神戸レオネッサ所属)

海堀あゆみ選手
(INAC神戸レオネッサ所属)



「Sweets+アイス」に「ジェラート」が新登場

人気の高い「Sweets+アイス」に「ジェラート」が仲間入りしました。『Sweets+』で展開するジェラートは、素材の良さを生かした味わい、なめらかな食感と口どけの良さ、ジェラートショップを目指した本格品質、品揃えのバラエティ感が特徴で、既存のアイスには無かった魅力を持つ新たなカテゴリーとして提供してまいります。



シチリアンヘーゼルナッツ

ヘーゼルナッツ独特の豊かな風味とコクを引き出すため、油分が豊富で風味が強いイタリアシチリア産ヘーゼルナッツを採用しています。



マダガスカルバニラ

世界最高の品質と言われているマダガスカル産バニラを採用し、濃厚で芳醇なバニラの味わい・風味を実現しました。



シチリアンブラッドオレンジ

「酸味」「甘み」「鮮やかな赤み」が特徴のシチリア産ブラッドオレンジを使用し、果汁の濃厚な味わいとフレッシュさを実現しました。



アルフォンソマンゴー

「マンゴーの王様」と呼ばれているアルフォンソマンゴーを使用し、独特な「甘さ」「濃密食感」を最大限に表現しています。



シココラ (ベネズエラ産カカオ)

チョコの濃厚さとビター感を引き出すため、生産量が少なく希少な素材である、ベネズエラ産カカオマスとココアパウダーを採用しました。



『できたてファミマキッチン』に新作登場

『できたてファミマキッチン』に「チキンナゲット」、「串かつ」、「うずら卵串」が新たに加わりました。「チキンナゲット」は鶏モモ・ムネ肉を使用し、塩・胡椒のシンプルな味付けとしました。「串かつ」は旨みがあり柔らかい豚ロース肉と玉ねぎを組合せ、「うずら卵串」はうずらの卵を5個使用した、いずれもボリューム感のある商品です。



うずら卵串・串かつ



チキンナゲット



グローバルな店舗網の構築

国内では、三大都市圏と地方中核都市を中心として、引き続き高質な店舗網の構築を進めております。海外では、アジア各地域を中心とした出店を積極的に行い2012年2月に国内外20,000店を達成しました。

国内外ファミリーマート20,000店を達成

1988年に、台湾へ海外1号店を出店して以来、グローバルな店舗展開に注力してきた結果、2012年2月に国内外20,000店を達成いたしました。これを新たな出発点と捉え、2015年度には25,000店を目指してまいります。

グローバル体制の構築

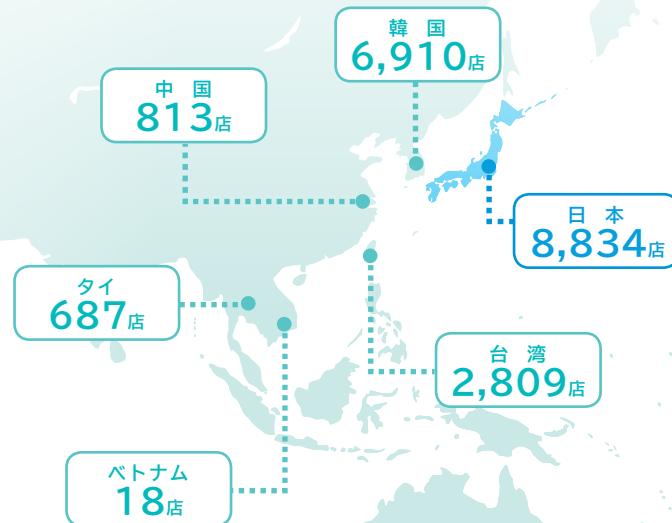
中国への出店は、2004年の上海を皮切りに、広州、蘇州へと展開地域を広げてまいりましたが、2011年11月に現地法人を杭州市に設立し、12月に1号店をオープンいたしました。さらに、同年12月に日本小売業初のベトナムでの合弁会社VI NA FAMILYMART CO., LTD. (以下VI NA FM) による1号店を開店いたしました。すでに、2009年12月以来Phu Thai社の100%子会社として設立されたFamily Company Limitedにより17店舗(2012年2月末日現在)を営業しておりますが、今後はVI NA FMとFamily Company Limitedの両社で展開し、ベトナムでの出店をさらに加速してまいります。



杭州

多摩都市モノレールと営業施設運営に関する業務委託契約を締結

2012年1月、多摩都市モノレール株式会社と、多摩都市モノレールの営業施設運営に関する業務委託契約を締結いたしました。多摩都市モノレール全19駅のうち6駅の売店を、順次ファミリーマート店舗として転換していく予定です。2012年2月末日現在、ファミリーマートは鉄道関係10社と契約締結し、235店舗を展開しております。その小型店運営ノウハウを活用し、利用されるお客さまの利便性を向上させてまいります。



「おとなコンビニ研究所」のフラッグシップ店開店

おとな
コンビニ
研究所

2011年11月に「おとなコンビニ研究所」のフラッグシップ店として「ファミリーマート代官山店」を開店いたしました。「おとなコンビニ研究所」のノウハウを活用し、今後の消費の主役である“おとな”の好奇心・消費意欲をくすぐる品揃えと落ち着いた空間で、“おとな”の皆さまに向けたスタイルを提案してまいります。



ファミリーマートチェーン国内地域別店舗数

●北海道/52	●東京/1,616	●滋賀/112	●香川/80
●青森/39	●神奈川/645	●京都/182	●愛媛/92
●岩手/100	●新潟/51	●大阪/802	●高知/36
●宮城/206	●富山/69	●兵庫/318	●福岡/358*
●秋田/48	●石川/77	●奈良/59	●佐賀/55*
●山形/85	●福井/89	●和歌山/64	●長崎/143*
●福島/120	●山梨/63	●鳥取/42	●熊本/113*
●茨城/179	●長野/49	●島根/41	●大分/80*
●栃木/124	●岐阜/88	●岡山/95	●宮崎/83
●群馬/90	●静岡/194	●広島/172	●鹿児島/208
●埼玉/452	●愛知/453	●山口/40	●沖縄/212
●千葉/378	●三重/128	●徳島/52	

※JR九州リテール株式会社が展開するファミリーマート店舗（福岡県：73店舗、佐賀県：5店舗、長崎県：5店舗、熊本県：14店舗、大分県：18店舗）を、店舗数に含めております。

株式会社ファミリーマート

8,164店

国内エリアフランチャイザー

670店

株式会社沖縄ファミリーマート
株式会社南九州ファミリーマート
株式会社北海道ファミリーマート
JR九州リテール株式会社

海外エリアフランチャイザー

11,245店

全家便利商店股份有限公司（台湾）
Siam FamilyMart Co., Ltd.（タイ王国）
BOKWANG FAMILYMART CO., LTD.（大韓民国）
上海福満家便利有限公司（中華人民共和国）
広州市福満家連鎖便利店有限公司（中華人民共和国）
蘇州福満家便利店有限公司（中華人民共和国）
杭州頂全便利店有限公司（中華人民共和国）
FAMIMA CORPORATION（アメリカ合衆国）
VI NA FAMILYMART CO., LTD.（ベトナム社会主義共和国）

ファミリーマートチェーン店舗数

国内店舗数 8,834店

海外店舗数 11,245店

合計 20,079店

（2012年2月末日現在）

アメリカ
8店



吉本興業と“いっしょに、笑顔。プロジェクト”開始

2011年12月、吉本興業株式会社と“いっしょに、笑顔。プロジェクト”を、2012年を通して実施することで合意いたしました。人と人とのつながり、地域とのつながりを強くすることで、日本のみならず、アジア諸国をも笑顔で満ちし元気にするを目的として、ファミリーマートのグローバルな店舗インフラと、吉本興業が持つアジア圏での多彩なエンターテインメントコンテンツをコラボレーションさせ、お客さまも一緒になって楽しめる様々な取組みを、継続的に展開してまいります。人気芸人とのコラボレーション商品開発や各地域で活躍する芸人との地域活性化にも取り組んでまいります。

あなたと、コンビニ。
FamilyMart



吉本興業 YOSHIMOTO
100TH ANNIV.

いっしょに、笑顔。プロジェクト始動中!



写真は吉本興業新宿本社内に出店した店舗前にて（2011年12月20日撮影）

日本国内におけるam/pm店舗のブランド統合完了

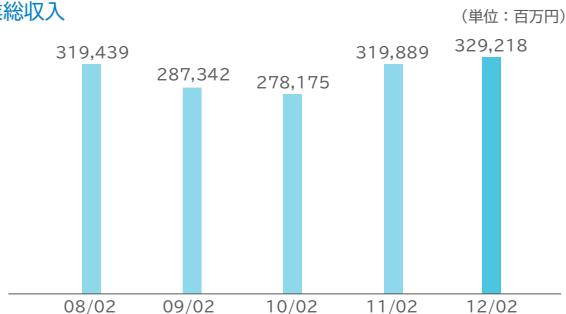
2010年3月の株式会社エーエム・ピーエム・ジャパンとの合併以来、am/pm店舗からのブランド転換を進めてまいりましたが、2011年12月をもって日

本国内における全am/pm店舗の営業を終了いたしました。これによって、ブランド統合がすべて完了いたしました。

業績の推移 (連結)



営業総収入

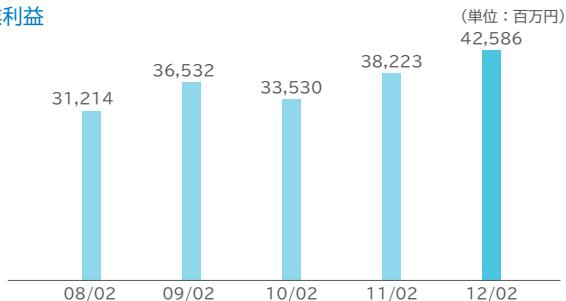


※2009年2月期から株式会社ファミマ・ドット・コム(連結子会社)において、「ソフトウェア取引の収益の会計処理に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年3月30日 実務対応報告第17号)の趣旨に鑑み、委託契約取引に係る売上高を従来の総額表示から純額表示に変更しております。

総資産および純資産



営業利益



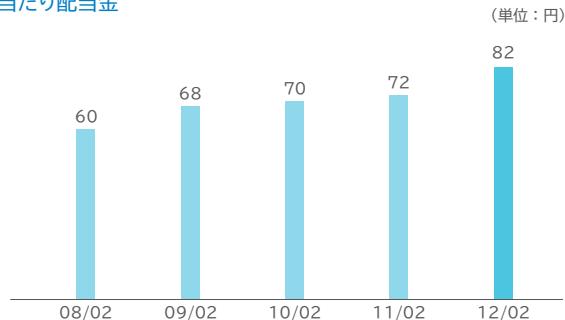
ROE (自己資本当期純利益率)



経常利益および当期純利益



1株当たり配当金



7期連続の増配となりました。

連結財務諸表



連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (2012年2月29日現在)	前連結会計年度 (2011年2月28日現在)
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	94,812	95,032
加盟店貸勘定	11,107	13,139
有価証券	42,325	4,522
商品	7,913	7,784
前払費用	9,024	8,695
繰延税金資産	3,167	11,801
未収入金	31,802	35,037
その他	17,455	30,874
貸倒引当金	△257	△553
流動資産合計	217,352	206,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,111	27,884
機械装置及び運搬具	4,009	3,301
工具、器具及び備品	38,376	27,547
土地	13,996	14,124
その他	681	306
有形固定資産合計	90,175	73,165
無形固定資産		
ソフトウェア	9,320	9,187
個店営業権	4,800	2,918
その他	1,553	2,422
無形固定資産合計	15,674	14,527
投資その他の資産		
投資有価証券	26,936	23,288
繰延税金資産	6,339	3,726
敷金及び保証金	108,213	106,242
その他	11,148	11,549
貸倒引当金	△3,019	△2,799
投資その他の資産合計	149,619	142,007
固定資産合計	255,469	229,699
資産合計	472,822	436,034

科目	当連結会計年度 (2012年2月29日現在)	前連結会計年度 (2011年2月28日現在)
【負債の部】		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,566	71,169
加盟店借勘定	4,789	5,928
リース債務	5,360	3,492
未払金	20,217	21,944
未払費用	5,627	5,053
未払法人税等	5,066	1,304
預り金	67,242	63,966
その他	2,851	4,640
流動負債合計	185,722	177,500
固定負債		
リース債務	27,996	19,964
退職給付引当金	7,514	6,846
役員退職慰労引当金	-	506
資産除去債務	11,909	-
長期預り敷金保証金	9,900	10,390
長期リース資産減損勘定	-	1,526
その他	3,840	2,318
固定負債合計	61,160	41,553
負債合計	246,883	219,054
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	16,658	16,658
資本剰余金	17,389	17,389
利益剰余金	196,913	187,544
自己株式	△8,743	△8,739
株主資本合計	222,218	212,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239	240
為替換算調整勘定	△4,197	△3,527
その他の包括利益累計額合計	△3,958	△3,287
少数株主持分	7,679	7,413
純資産合計	225,939	216,979
負債純資産合計	472,822	436,034

*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (自2011年3月1日 至2012年2月29日)	前連結会計年度 (自2010年3月1日 至2011年2月28日)
営業収入	219,205	208,193
売上高	110,013	111,696
営業総収入	329,218	319,889
売上原価	77,061	77,713
売上総利益	32,951	33,983
営業総利益	252,156	242,176
販売費及び一般管理費	209,570	203,953
営業利益	42,586	38,223
営業外収益	3,011	2,393
営業外費用	787	709
経常利益	44,810	39,907
特別利益	4,326	1,220
特別損失	17,853	6,752
税金等調整前当期純利益	31,283	34,375
法人税等	13,052	14,913
少数株主損益調整前当期純利益	18,230	-
少数株主利益	1,646	1,438
当期純利益	16,584	18,023

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (自2011年3月1日 至2012年2月29日)	前連結会計年度 (自2010年3月1日 至2011年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	72,900	50,337
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,746	△25,798
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,188	△13,976
現金及び現金同等物に係る換算差額	△996	△237
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	36,968	10,325
現金及び現金同等物の期首残高	95,486	85,161
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	702	-
現金及び現金同等物の期末残高	133,157	95,486

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度(自2011年3月1日 至2012年2月29日)

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			その他の包括 利益累計額合計
前期末残高	16,658	17,389	187,544	△8,739	212,852	240	△3,527	△3,287	7,413	216,979
当期変動額										
剰余金の配当			△7,214		△7,214					△7,214
当期純利益			16,584		16,584					16,584
自己株式の取得				△4	△4					△4
自己株式の処分		△0		0	0					0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△1	△670	△671	265	△405
当期変動額合計	-	△0	9,369	△4	9,365	△1	△670	△671	265	8,959
当期末残高	16,658	17,389	196,913	△8,743	222,218	239	△4,197	△3,958	7,679	225,939

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表



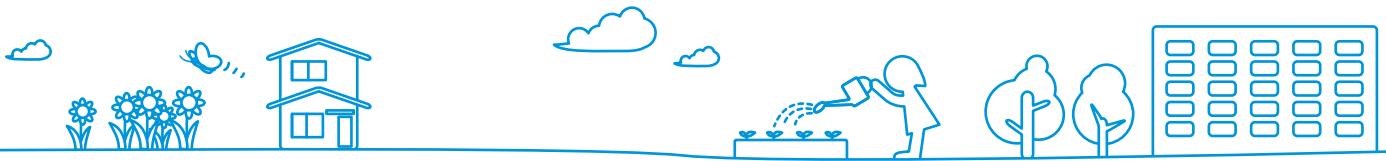
貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (2012年2月29日現在)	前事業年度 (2011年2月28日現在)
【 資 産 の 部 】		
流動資産		
現金及び預金	75,647	80,770
加盟店貸勘定	11,064	13,103
有価証券	42,197	3,999
商品	2,005	2,253
前払費用	8,639	8,131
繰延税金資産	2,941	11,700
関係会社短期貸付金	-	9,076
未収入金	27,960	33,470
立替金	8,277	9,436
短期敷金	6,748	6,456
その他	1,680	1,309
貸倒引当金	△240	△529
流動資産合計	186,923	179,180
固定資産		
有形固定資産		
建物	23,661	19,922
構築物	3,121	2,822
機械及び装置	4,007	3,285
工具、器具及び備品	31,368	21,650
土地	10,465	10,465
その他	12	44
有形固定資産合計	72,636	58,191
無形固定資産	14,457	12,844
投資その他の資産		
投資有価証券	11,849	12,626
関係会社株式	24,225	20,265
関係会社長期貸付金	950	1,593
長期前払費用	7,787	7,573
繰延税金資産	8,188	5,434
敷金	105,616	103,302
その他	2,898	3,569
貸倒引当金	△3,401	△3,828
投資損失引当金	△9,615	△10,336
投資その他の資産合計	148,499	140,199
固定資産合計	235,593	211,235
資産合計	422,516	390,416

科 目	当事業年度 (2012年2月29日現在)	前事業年度 (2011年2月28日現在)
【 負 債 の 部 】		
流動負債		
買掛金	4,452	4,052
加盟店買掛金	60,072	56,890
加盟店借勘定	4,225	5,322
リース債務	5,341	3,458
未払金	16,911	18,309
加盟店未払金	1,595	2,458
未払費用	2,411	2,153
未払法人税等	4,449	605
預り金	54,313	53,456
その他	1,585	3,434
流動負債合計	155,360	150,142
固定負債		
リース債務	27,949	19,851
退職給付引当金	7,015	6,498
役員退職慰労引当金	-	480
資産除去債務	11,689	-
長期預り敷金	6,024	6,540
長期リース資産減損勘定	-	1,526
その他	2,976	971
固定負債合計	55,655	35,869
負債合計	211,015	186,011
【 純 資 産 の 部 】		
株主資本		
資本金	16,658	16,658
資本剰余金		
資本準備金	17,056	17,056
その他資本剰余金	331	331
資本剰余金合計	17,388	17,388
利益剰余金		
利益準備金	2,668	2,668
その他利益剰余金		
別途積立金	165,753	155,753
繰越利益剰余金	17,539	20,432
利益剰余金合計	185,961	178,854
自己株式	△8,743	△8,739
株主資本合計	211,264	204,162
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	236	242
評価・換算差額等合計	236	242
純資産合計	211,501	204,405
負債純資産合計	422,516	390,416

*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	(自2011年3月1日 至2012年2月29日)	(自2010年3月1日 至2011年2月28日)
営業収入	195,097	185,823
加盟店からの収入	175,482	167,636
その他の営業収入	19,615	18,186
売上高	79,351	84,994
営業総収入	274,449	270,817
売上原価	57,135	60,811
売上総利益	22,216	24,183
営業総利益	217,314	210,006
販売費及び一般管理費	179,033	176,265
営業利益	38,281	33,741
営業外収益	3,122	2,810
営業外費用	752	664
経常利益	40,650	35,887
特別利益	4,344	1,187
特別損失	18,914	7,162
税引前当期純利益	26,080	29,912
法人税、住民税及び事業税	4,398	495
法人税等調整額	7,359	12,738
当期純利益	14,321	16,678

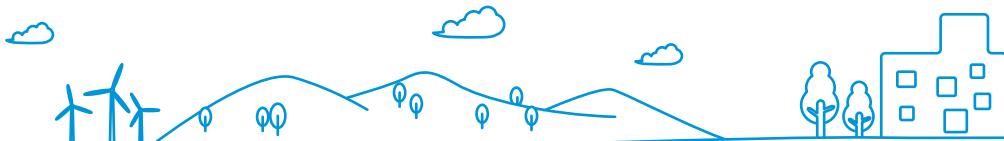
※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 当事業年度(自2011年3月1日 至2012年2月29日)

(単位：百万円)

	株主資本									評価・換算差額等	純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計			その他 有価証券 評価差額金
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	利益剰余金 合計					
前期末残高	16,658	17,056	331	17,388	2,668	155,753	20,432	178,854	△8,739	204,162	242	204,405
当期変動額												
別途積立金の横立						10,000	△10,000	-		-		-
剰余金の配当							△7,214	△7,214		△7,214		△7,214
当期純利益							14,321	14,321		14,321		14,321
自己株式の取得									△4	△4		△4
自己株式の処分			△0	△0					0	0		0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)											△6	△6
当期変動額合計	-	-	△0	△0	-	10,000	△2,893	7,106	△4	7,102	△6	7,095
当期末残高	16,658	17,056	331	17,388	2,668	165,753	17,539	185,961	△8,743	211,264	236	211,501

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



利便性の高いサービスの展開

「ファミマ.com」でTポイントサービス開始

お買い物をした商品を、ファミリーマート店舗にて送料無料でお受け取りできる便利なインターネットショッピングサイト「ファミマ.com」では、2012年2月より「Tポイントサービス」を開始いたしました。これにより、当サイトでお買い物をする際はファミリーマート店舗と同様に、Tポイントを「貯める」「使う」ことが可能になりました。これを機にT会員の皆さまをはじめ、より多くのお客さまへ利便性の高いサービスを提供してまいります。

T-POINT が貯まります。



ファミマドットコム

検索

<http://www.famima.com/>

店舗を通じた社会貢献への取組み

災害義援金の募金活動

国内外の大規模災害発生時には、全国のファミリーマート店にて災害義援金の募金活動を実施し、被災地の支援活動に積極的に取り組んでおります。

2011年度災害義援金の募金活動

災害名称	募金期間	募金総額	寄付先
ニュージーランド地震	2/25~3/10	917万8,251円	日本赤十字社
東日本大震災	3/11~8/31	13億 6,353万7,294円	日本赤十字社、青森県、宮城県、岩手県、福島県、あしなが育英会、社会福祉法人中央共同募金
台風12号	9/13~9/26	345万8,971円	三重県庁、奈良県庁、和歌山県庁
タイ洪水	10/20~11/14	2,382万5,056円	タイ赤十字社、The Rajaprajanugroh Foundation Under The Royal Patronage

※対象商品の売上の一部を寄付するなどのキャンペーンによる義援金等も算入しております。

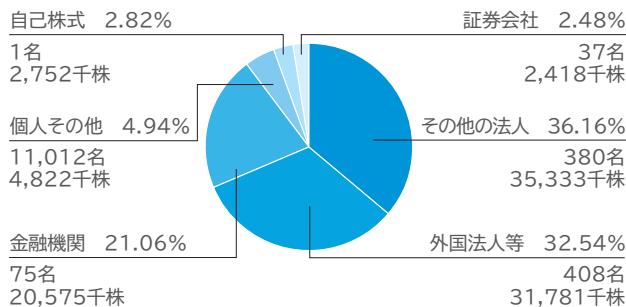
株式の状況／会社概要 (2012年2月29日現在)



株式の状況

発行可能株式総数…………… 250,000,000株
 発行済株式の総数…………… 97,683,133株
 株主数…………… 11,913名

株式分布状況



大株主の状況

氏名または名称	持株数	持株比率
伊藤忠商事株式会社	29,941千株	31.53%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,179千株	4.40%
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	2,930千株	3.08%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,385千株	2.51%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,340千株	2.46%
株式会社みずほ銀行	2,085千株	2.19%
日本生命保険相互会社	1,964千株	2.06%
ドイツ証券株式会社	1,673千株	1.76%
THE CHASE MANHATTAN BANK, N. A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	1,421千株	1.49%
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	1,302千株	1.37%

※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を減じた株式数(94,930,994株)を基準に算出しております。

商号	株式会社ファミリーマート
本店所在地	〒170-6017 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号
設立年月日	1981年9月1日
資本金	166億58百万円
従業員数	3,356名

役員(2012年5月24日現在)

取締役	執行役員
代表取締役社長	常務執行役員
上田 準二	潘 進丁 平田 満次
専務取締役	上野 和成 中平 義人
専務執行役員	本多 利範
小部 泰博	上席執行役員
加藤 利夫	伊藤 勝夫 益子 正吉
高田 基生	岩切 公愛
小坂 雅章	執行役員
和田 昭則	鈴木 久 土方 軌
小松崎行彦	藤森 正美 三浦 英樹
玉巻 裕章	木暮 剛彦 小野塚喜和
取締役	杉浦 正憲 池田 知明
常務執行役員	市川 透 鈴木 和夫
竹林 昇	青木 実 飯塚 隆
北木 繁久 植松 美昭	丸山 直美 坂崎 佳樹
田辺 則紀 館岡信太郎	菊池 潔 三澤 健司
常勤監査役	遠藤 隆 倉又 輝夫 山下 純一
高岡 美佳	杉浦 真

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当の基準日	毎年2月末日および8月31日
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 http://www.family.co.jp/
上場金融商品取引所	東京証券取引所（第一部）
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主さまは、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページの紹介

ファミリーマート

検索

<http://www.family.co.jp/>



ホームページでは、商品情報のほか、ニュースリリース、社会貢献・環境活動、投資家情報など当社に関する各種情報を公開しております。

第16回「IR優良企業大賞」を受賞！

日本IR協会が選定する本賞は「IR優良企業賞」を3回受賞した企業に授与される賞で、2006年度、2010年度に引き続き、今年度で3回目の受賞となったことで、「IR優良企業大賞」を受賞いたしました。東日本大震災の被害状況や復旧状況などを可能な限り迅速に情報開示したことなどが評価されました。今後も、正確性・迅速性・公平性を基本姿勢に、企業価値向上に資するIR活動を行ってまいります。



ファミリーマートは日本サッカー協会のサポーターズカンパニーです。



読みやすさを追求した書体

